

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
基礎分野	人間関係論・演習	2	45	1年次	9月	高木ひろみ 吉田 道雄
<b>授業概要</b> よりよい人間関係を創造するために、人間関係の基礎的理論を学ぶことをねらいとする。 看護に関する専門的知識・技術だけでは期待される看護は実現できない。そのためには、望ましい人間関係を築き上げる力を身につける必要がある。また自分たちが生活し仕事をしている社会や集団を理解する力の養成も欠かせない。この授業では、とくにグループ・ダイナミックスの成果に焦点を当てる。グループ・ダイナミックスは、集団を通して人間を理解することを目的としている研究領域である。これによって、人間と集団についての理解を深め、新しい人間関係を創造するための基礎理論を学んでいく。 健康で職務を遂行できるよう自分自身のストレスマネジメントを学ぶ。						
<b>到達目標</b> 1. コミュニケーションを形成・促進するために自己理解を深める。 2. 人間関係の築き方及びコミュニケーションがとれる対人関係の持ち方について理解できる。 3. 人間と集団についての理解を深め、新しい人間関係を創造するための基礎理論について理解できる。						
<b>使用教材</b> テキスト なし 参考文献等 講師が資料を準備						
<b>評価</b> 筆記試験（1～15回）						
<b>授業計画</b>						
時間・回数	授業内容					方法
6時間・3回	1.人間関係基礎論 1)人間関係の基礎 2) コミュニケーション 3)人間関係の研究と応用					講義
12時間・6回	2.看護における人間関係 1)保健医療チームの人間関係 2)闘病生活を支える人間関係 3)患者・家族を支える人間関係 4)ソーシャルサポートをめぐる人間関係					講義
6時間・3回	3.心理的ケアの基本と実践 1)人間関係を築くための面接技法 2)効果的援助のための面接技法					講義
5時間・3回	4.ストレスマネジメント 1)ストレスの基本的理解と対処法 2)ストレス対処法の実践					講義
1時間・1回	筆記試験					

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
基礎分野	人間関係論・演習	2	45	1年次	9月	高木ひろみ 吉田 道雄
時間・回数	授業内容					方法
8時間・4回	1.人間理解とグループ・ダイナミックス 1)グループ・ダイナミックスと人間理解 2)人間理解の基礎  2.集団理解とグループ・ダイナミックス 1)集団の力と個人 2)集団規範と個人の行動  3.集団と行動変容 1)集団と個人の態度 2)集団決定法と行動変容					校内演習
7時間・4回	4.看護とコミュニケーション 1)コミュニケーションの理論 2)ことばとコミュニケーション 3)コミュニケーションのスキルアップ  5.看護とリーダーシップ 1)リーダーシップの理 2)リーダーシップとフォロワーシップ 3)リーダーシップのスキルアップ					校内演習
備考						